

入院診療計画書② (卵巣疾患 腹腔鏡手術)

患者ID: 患者ID
 患者氏名: 氏名

主治医氏名: 氏名
 担当看護師氏名: 担当看護婦

新規作成日: 新規作成日

日付	#####	術前	術後	1/1 1日後	1/2 2日後	1/3 3日後	1/4 4日後	
目標	不安の表出ができる	精神的準備ができている	合併症の症状・所見がない	消化管の症状・所見がない	排便のコントロールができている			
	手術について理解できる		ドレーンに異常がない	排尿状態に問題がない	ADLの範囲の拡大ができる			
			排液に問題がない	離床ができる	ドレーンに異常がない		治療について理解できる	
				ドレーンに異常がない	排液に問題がない			
投薬	下剤の内服があります。持参薬は確認後いつものように内服してください。	内服は指示があったものだけ、少量の水で内服してください。		痛み止めの内服が始まります。術前から飲んでいたお薬は、確認してから内服再開してください。				
注射		手術前に点滴2本と抗生剤1本行います。	手術後に点滴4本と抗生剤1本行います。	点滴2本があります。終わったら点滴を抜きます。				
検査	検体検査			朝に採血があります。				
処置	身長・体重を測定します。緊急連絡先や既往歴などについて確認をします。飲んでいるお薬を確認し、薬剤師が返却します。腹部～陰部の除毛、臍の汚れを除去します。	午前中から点滴を開始します。朝8時半の手術は手術室へ行ってから点滴します。手術着に着替えて、弾性ストッキングをはきます。	帰室後は酸素マスクをします。血栓予防のため間歇的空気圧迫法を行いません。弾性ストッキングをはきます。	帰室後は酸素マスクをします。血栓予防のため間歇的空気圧迫法を行います。	医師による回診があり、創部のチェックを行いません。腹部に入っている管を抜きます。背中に痛み止めの管を入れている場合は抜きます。	退院診察があります。		
				医師の回診で創部のチェックを行いません。付き添いのもと初回歩行を行い、問題がなければ尿の管を抜きます。早期離床は術後の回復を助けます。痛み止めを使用して体を動かしていきます。				
看護情報	確認事項	①手術同意書 ②輸血同意書 ③特定生物由来製剤同意書 ④麻酔同意書 4点を確認します。	メガネやコンタクト、ネックレスや指輪など貴金属類と義歯はすべて外してください。				心配なことがあれば遠慮なくお伝えください。	
	観察項目	性器出血、腹痛、腹部膨満感を観察します。検温は入院時と夜の2回です。	性器出血、腹痛、腹部膨満感を観察します。検温は入院時と夜の2回です。	創出血、性器出血、嘔気、嘔吐、頭痛、創痛（10段階のペインスコア）、呼吸苦、排ガスの有無を観察します。帰室後、30分後、1時間後、2時間後、3時間後、6時間後に検温します。	創出血、性器出血、嘔気、嘔吐、頭痛、創痛（10段階のペインスコア）、呼吸苦、排ガスの有無を観察します。検温は起床時、午前中、午後、夜の4回あります。	創出血、性器出血、嘔気、嘔吐、頭痛、創痛（10段階のペインスコア）、排ガス、排便の有無を観察します。検温は日中と夜の2回です。		
	指導	病棟オリエンテーションを行います。手術前後の流れを説明し、入院診療計画書に同意を頂きます。手術に必要な物品（T字帯、ナプキン、バスタオル、ゆかた、弾性ストッキング）を確認します。	ブラジャーや肌着はつけしないでください。ショーツは履いたままで構いません。髪が長い場合は、飾りのないゴムで束ねてください。				退院後の生活上の注意点について説明いたします。	①出血（少量の出血は問題ありません） ②38度以上の発熱（風邪以外） ③強い腹痛 退院後上記の症状があれば連絡し受診してください。
	清潔	除毛と臍処置が終わったらシャワー浴または入浴で身体をきれいに洗ってください。	歯磨き、洗面を済ませてください。		体拭き・着替えを介助しながら行います。	体に入っている管が抜ければシャワー浴ができます。管が入っていれば体拭きをお手伝いします。		退院は10時です。お会計が済んでからお預かりしているお薬や退院処方をお渡し致します。ご自宅でシャワー浴を行ってください。次回外来までは湯船にはつかないでください。
排泄		手術室で尿の管を入れます。	尿の管が入っています。	尿の管を抜いて最初の排尿があったら看護師にお知らせください。	術後は腸の動きが弱く便秘しやすいため、水分摂取を心がけ、少しずつ身体を動かしましょう。	排便はありましたか。水分摂取を心がけて、少しずつ身体を動かしましょう。	退院後も水分摂取に心がけ、少しずつ身体を動かしながら、便秘に注意していきましょう。	
安静度	病棟内フリー（検温や処置の時間は病室にいらしてください。）		ベッド上安静ですが、介助で体の向きを変えることができます。膝を立てると腰が楽になります。	病棟内の歩行ができるようになります。少しずつ歩く機会を増やしましょう。	病棟内は自由に歩行できます。なるべく体を動かしましょう。			
食事	22時以降、絶食になります。水分（水・お茶）は朝6時まで飲みます。	朝6時までは水分（水・お茶）は飲みます。それ以降は飲食禁止です。	何も食べたり飲んだりできません。	昼から5分粥の食事が開始となります。夕は全がゆとなります。	朝から常食が出ます。		退院おめでとうございます	
リハビリ								